

施設名：日野市立みなみだいら児童館ぷらねっと

(1) 選定のポイント

- ・地域、関係機関、ボランティア等との連携
- ・施設の特性を生かしたサービス内容
- ・安定したサービスを提供するための職員体制の充実、職員研修によるレベルアップ
- ・児童の健全育成及び安全に配慮した事業運営（安心、安全した居場所づくり）
- ・市の施策が反映できる事業展開
- ・経費節減等の工夫

(2) 応募団体名

財団法人 社会教育協会 日野社会教育センター

(3) 採点表

7名の選定委員の得点の合計点を選定委員会全体の得点とした。

審査項目	内 容	(財)日野社会教育 センター 得点	配点合計
市民の平等な利用及びサービスの向上が確保されているか。 (第4条第1号)	①市民の平等な利用が確保されているか。	3 6 3	4 5 5 点 (65点×7人)
	②だれでも利用できる配慮はなされているか。		
	③利用者の意見を反映する仕組みがあるか。		
	④施設の特性を生かしたサービスが提案されているか。		
	⑤地域、関係機関、ボランティア等との連携が図られているか。		
事業計画書等の内容が、公の施設の効用を最大限に発揮するとともに、管理に要する経費の縮減を図ることができるか。 (第4条第2号)	①公の施設の効用を最大限に発揮できるものになっているか。	9 8	1 4 0 点 (20点×7人)
	②経費削減等の工夫がされているか。		
事業計画に沿った管理を安定して行う物的及び人的な能力を有しているか。 (第4条第3号)	①安定したサービスを提供するための職員体制、職員研修が実施できるか。	2 2 4	3 1 5 点 (45点×7人)
	②同種の施設管理運営実績があるか。		
	③防災・防犯時の危機管理対応策は適切であるか。		
	④日常的な安全管理が十分に考えられているか。		
	⑤日常的な衛生管理が十分に考えられているか。		

個人情報等について適正な管理が確保されるか。(第4条第4号)	①個人情報を保護するための体制が整っているか。	23	35点 (5点×7人)
その他市長等が必要と認める事項。 (第4条第5号)	①環境への配慮がされているか。	78	105点 (15点×7人)
	②事業に対する熱意、意欲、積極性が感じられるか。		
	③その他施設の運営に特筆すべき提案があるか。		
小 計		786	1050点
付 加 点		70	(150点×7人)
合 計		856	人)
順 位		1	

※ 審査の採点方法は、各審査項目について、配点に応じて評価点に所定の掛け率を乗じ採点した。

※ 各項目の採点基準（評価点）

- 5点 要件を十分に満たしている。
- 4点 多少工夫の余地はあるが、ほぼ要件を満たしている。
- 3点 基本的な水準を満たしている。
- 2点 多くの問題があり、基本的な水準に達していない。
- 1点 全く要件を満たしていない。

例：配点20点の場合は、評価点5点×加重点4

※付加点とは、当該選定施設を現に管理運営している指定管理者が応募した場合に、過去の管理運営実績に基づいた行政評価による指定管理者導入施設検査・評価調書及び市民評価委員会による評価結果により、定められた点数を、上記審査項目得点合計に加算するものである。

＜指定管理者導入施設検査・評価調書及び市民評価委員会による評価結果＞

	評価点	付加点
1	128点以上	+20点
2	120点以上 128点未満	+15点
3	112点以上 120点未満	+10点
4	104点以上 112点未満	+5点
5	96点以上 104点未満	0点
6	88点以上 96点未満	-5点
7	80点以上 88点未満	-10点
8	72点以上 80点未満	-15点
9	72点未満	-20点

本施設については、財団法人 社会教育協会 日野社会教育センターに対して、指定管理者導入施設検査・評価調書による評価結果（評価点114.1点）に基づき、10点×7名=70点の付加点を加算する。

(4) 選定結果

指定管理者候補者 財団法人 社会教育協会 日野社会教育センター

(5) 指定期間

平成22年4月1日 から 平成27年3月31日 まで

(6) 総評

●選定理由

- ・大きな子が小さな子の面倒をみる青少年リーダー育成に取り組んでいることは評価できる。
 - ・幼児から高校生まで、それぞれの年齢に応じた安定した活動がなされている。
 - ・行き場のない中高生に対しても誠実に対応しており、今後も大いに期待できる。
 - ・地域の諸団体、ボランティアとの関わりも積極的で良好であり、評価できる。また、卒業生がすぐにリーダーになるなど、地域の子ども達に根付いている。特に都立南平高校の生徒との関わり（中高生ライブ）も居場所作りの一端を担っており、とても良い活動である。
 - ・社会教育センター自体と一緒に行事等を行っている点は良い。
 - ・「たまだいら児童館ふれっしゅ」と比較し、立地・建物・設備等の諸条件が悪いにもかかわらず、地域に密着し、地域の拠点となるべく事業を計画し、実践していることは大変評価できる。
- 以上の理由から、安定した公の施設としてのサービスの提供が可能であると判断し、上記候補者を選定した。

●協定締結にあたっての要望事項

- ・来館者数2万2千人を目標としてがんばっていただきたい。
- ・不審者対策については、構造上の問題もあるが、来館時の出入りをもう少しチェックできる工夫をしていただきたい。また、受付の接遇については、来館者をあたたかく迎えるよう心がけていただきたい。
- ・利用者のアンケート調査を繰り返し行い、ニーズや要望、苦情を把握し、管理運営に役立てていただきたい。また、結果概要を市に報告するとともに、場合によっては市の協力を仰ぐべきである。
- ・防犯防災の対応について、もっとアピールしていただきたい。組織的にしっかりと対応していただきたい。
- ・地域の諸団体、ボランティアの利用も今後さらに検討すべきである。